お客様向け資料

スパークス・アセット・マネジメント株式会社

マンスリーレポート
2020年4月30日

スパークス・M＆S・ジャパン・ファンド
愛称：華咲く中小型

お知らせ

当ファンドは、
「Morningstar Award “Fund of the Year 2018”」
において、
「優秀ファンド賞（国内株式型 部門）」
を受賞しました。

Morningstar Award “Fund of the Year 2018”は過去の情報に基づくものであり、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。また、モーニングスターが信頼できると判断したデータにより評価しましたが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。著作権等の知的所有権その他一切の権利はモーニングスター株式会社並びにMorningstar, Inc. に帰属し、許可なく複製、転載、引用することを禁じます。

当賞は国内追加型株式投資信託を選考対象として独自の定量分析、定性分析に基づき、2018年において各部門別に総合的に優秀であるとモーニングスターが判断したものです。国内株式型 部門は、2018年12月末において当該部門に属するファンド871本の中から選考されました。

R&I ファンド大賞 2020
投資信託／総合部門
最優秀賞
R&I Fund Award 2020

スパークス・アセット・マネジメント株式会社は、
株式会社格付投資情報センターの選定による「R＆Iファンド大賞2020」において
「投資信託／総合部門」の「国内株式総合部門」で、「最優秀賞」を受賞しました。

「R＆Iファンド大賞」は、R&Iが信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報（ただし、その正確性及び完全性につきR＆Iが保証するものではありません）の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務（信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務）です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR＆Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。「投資信託/総合部門」の各カテゴリーは、受賞運用会社の該当ファンドの平均的な運用実績を評価したもので、受賞運用会社の全ての個別ファンドについて運用実績が優れていることを示すものではありません。

当表彰は、スパークス・アセット・マネジメント株式会社が受賞したアワードであり、当ファンドの受賞ではございません。

REFINITIV LIPPER FUND AWARDS
2020 WINNER JAPAN

スパークス・アセット・マネジメント株式会社は、
「リフィニティブ・リッパー・ファンド・アワード 2020 ジャパン」 において
「投資信託　株式部門　最優秀会社賞」を2年連続受賞しました。
（直近7年間では6回目の受賞です。）

リフィニティブ・リッパー・ファンド・アワードは毎年、多くのファンドのリスク調整後リターンを比較し、評価期間中のパフォーマンスが一貫して優れているファンドと運用会社を表彰いたします。
選定に際しては、「Lipper Leader Rating（リッパー・リーダー・レーティング）システム」の中の「コンシスタント・リターン（収益一貫性）」を用い、評価期間3年、5年、10年でリスク調整後のパフォーマンスを測定いたします。評価対象となる分類ごとに、コンシスタント・リターンが最も高いファンドにリフィニティブ・リッパー・ファンド・アワードが贈られます。詳しい情報は、lipperalpha.refinitiv.com/lipper/をご覧ください。Refinitiv Lipperは、本資料に含まれるデータの正確性・信頼性を確保するよう合理的な努力をしていますが、それらの正確性については保証しません。

リフィニティブ・リッパー・ファンド・アワードについて
世界の20カ国以上で30年余りにわたり、高く評価されているRefinitiv Lipper Fund Awardsは、独自の投資信託評価システム「Lipper Leader Rating（リッパー・リーダー・レーティング）システム」の中の「コンシスタント・リターン(収益一貫性)」を用い、優れたファンドとその運用会社を選定し、表彰するものです。評価方法の詳細につきましては、lipperalpha.refinitiv.com/lipper/をご覧ください。

当表彰は、スパークス・アセット・マネジメント株式会社が受賞したアワードであり、当ファンドの受賞ではございません。

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社（以下当社）が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。従って、元本が保証されているものではなく、組入れた有価証券の価格が下落する場合や、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写をすることを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書（交付目論見書）のご請求、お問合せは販売会社まで。

お客様向け資料

スパークス・アセット・マネジメント株式会社

スパークス・M＆S・ジャパン・ファンド
愛称：華咲く中小型

マンスリーレポート

基準日　2020年4月30日

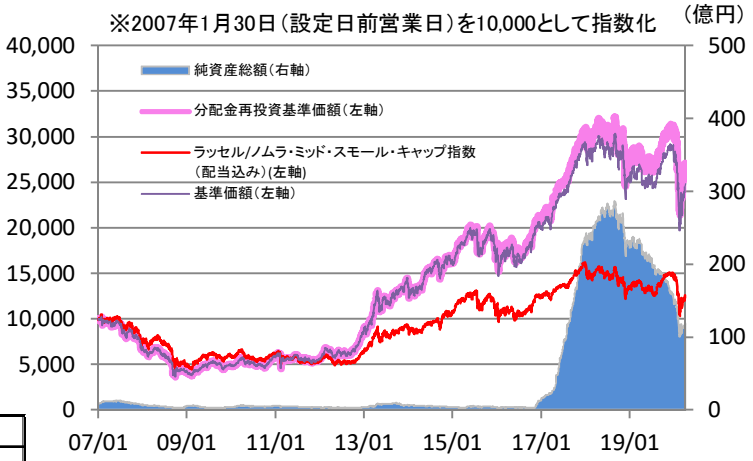
【運用実績】

過去のパフォーマンス(%)			直近の分配実績(円)	
	ファンド	ﾍﾞﾝﾁﾏｰｸ		
過去1ヵ月間	6.48	4.52	第9期 2016/01/25	300
過去3ヵ月間	-9.66	-12.71	第10期 2017/01/25	300
過去6ヵ月間	-9.40	-12.97	第11期 2018/01/25	350
過去1年間	-5.26	-10.46	第12期 2019/01/25	300
過去3年間	20.44	-1.43	第13期 2020/01/27	350
設定来	170.34	25.65	設定来累計	1,850

※決算期に収益分配があった場合のファンドのパフォーマンスは分配金（税金控除前）を再投資することにより算出される収益率です。従って実際の投資家利回りとは異なります。

【基準価額・純資産総額の推移】

基準価額	解約価額	純資産総額
24,853 円	24,779 円	119.22 億円



※当ファンドのベンチマークは、ラッセル/ノムラ・ミッド・スモール・キャップ指数（配当込）ですが、当ファンドはベンチマークに連動するものではありません。
※基準価額は、信託報酬等控除後です。
※分配金再投資基準価額は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものとして計算しております。
※過去の実績は将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

【資産別構成】

資産種類	比率(%)
株式	95.2
投資信託証券	0.6
その他株式関連証券	0.0
現金その他	4.2

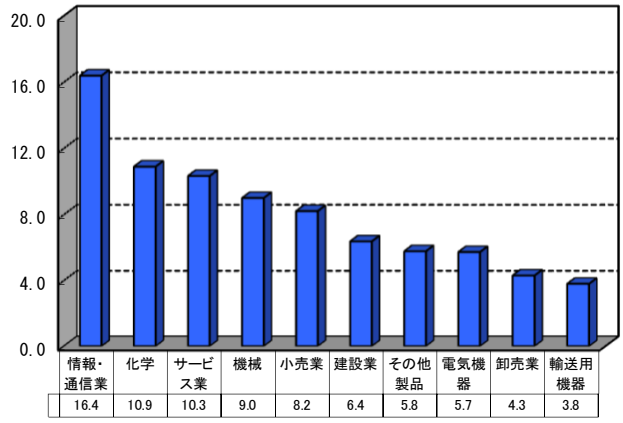
※比率は対純資産総額

【株式市場別構成】

市場	比率(%)
東証1部	94.2
東証2部	0.0
東証ﾏｻﾞｰｽﾞ	1.0
その他市場	0.0
株式組入比率	95.2

※比率は対純資産総額

【株式業種別構成 上位10業種(%)】



※比率は対純資産総額

【組入有価証券 上位10銘柄】

（銘柄総数：61銘柄）

	銘柄	市場	業種	比率(%)
1	NECネッツエスアイ	東1	情報・通信業	4.9
2	センコーグループホールディングス	東1	陸運業	3.4
3	三洋化成工業	東1	化学	3.1
4	前田工繊	東1	その他製品	3.1
5	日本光電工業	東1	電気機器	3.0
6	タクマ	東1	機械	3.0
7	カプコン	東1	情報・通信業	2.9
8	モリタホールディングス	東1	輸送用機器	2.9
9	ライク	東1	サービス業	2.9
10	飛島建設	東1	建設業	2.7

※略称は下記の取引市場を指します。　※比率は対純資産総額
東1：東証1部、東2：東証2部、ﾏｻﾞｰｽﾞ：東証マザーズ、JQ：JASDAQ

※上記記載のうち、【運用実績】、【基準価額・純資産総額の推移】以外は、当ファンドが投資するマザーファンドに関する情報です。
※「比率(%)」は、当ファンドが投資するマザーファンドの純資産総額に対する比率です。

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社（以下当社）が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。従って、元本が保証されているものではなく、組入れた有価証券の価格が下落する場合や、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写をすることを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書（交付目論見書）のご請求、お問合せは販売会社まで。

スパークス・M&S・ジャパン・ファンド
愛称: 華咲く中小型

マンスリーレポート

基準日　2020 年 4 月 30 日

◆株式市場の状況

4 月の日本株式市場は、第 1 週は前月に引き続き下落傾向でしたが、その後は株価急落による割安感からの買いが入り、加えて各国政府の政策への期待、新型コロナウイルス感染拡大の収束期待などから反発しました。前月の反動で新興市場は大きく反発しましたが、東証小型株は大型株と同程度のパフォーマンスでした。

この結果、TOPIX（配当込み）は前月末比 4.35%の上昇、当ファンドのベンチマークは同 4.52%の上昇となりました。

◆ファンドの運用状況

当ファンドのパフォーマンスは、前月末比 6.48%の上昇となりました。

当月、休校延長などによりオンライン教育サービスへの需要増が期待されたジャストシステムなどが、パフォーマンスに対してプラスに貢献し、一方前月までの株価上昇の反動から日本光電などが、マイナスに影響しました。

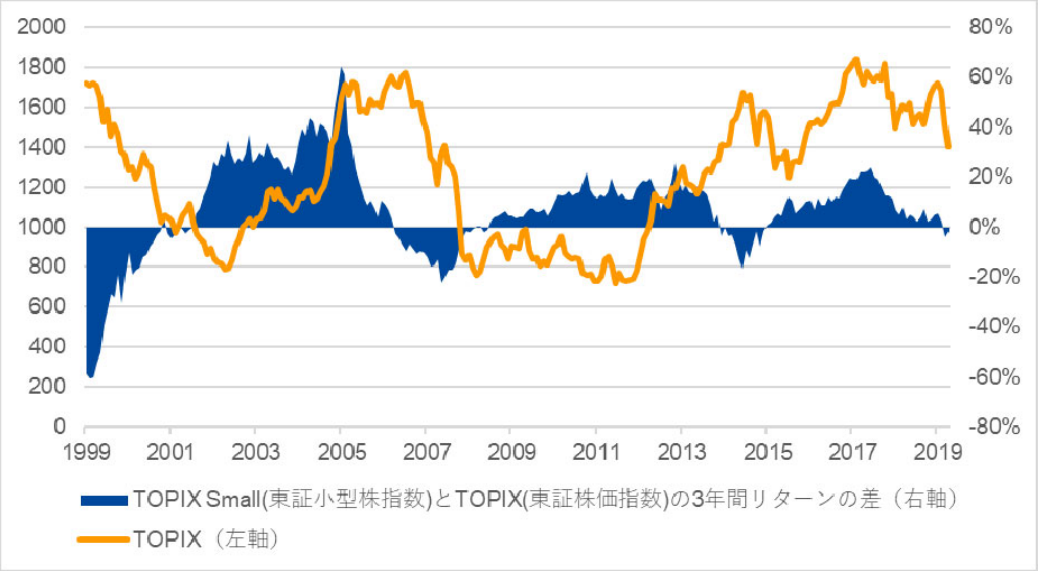
当月は前月から一転し、欧米諸国の経済活動再開期待を背景に、景気敏感銘柄が上昇しました。実態景気の悪化懸念と先行きへの期待とが交錯する展開でしたが、欧米諸国での新型コロナウイルスの新規感染者数増加の鈍化や治療薬への期待などが相場を牽引する結果となりました。

投資行動の観点では、引き続き既保有銘柄への買い増しとともに、株価が上昇し割安感が薄れた銘柄や当初の投資仮説から実態が乖離した銘柄の売却を行っています。また、経済環境の変化だけでなく株式市場の需給悪化により過度に売り込まれた一部の J-REIT（不動産投資信託）に新規投資を行いました。

◆今後の運用方針

日本株式市場は 3 月ほどの大きな変動こそ少なくなったものの、新型コロナウイルスの感染拡大に反応する不安定な状況が続いています。当月は、過去の相場環境を振り返りながら当ファンドの投資戦略（以下「当戦略」）の軌跡を辿り、現時点での私どもの考え方について述べたいと思います。

株価の変動要因は数多くあり、単純化した解釈は困難かつ危険であると感じていますが、受益者の皆様が当戦略への理解を深めていただくきっかけとなるよう、ご説明させていただきます。



※ TOPIX Small（東証小型株指数）および TOPIX（東証株価指数）は当ファンドのベンチマークではありません。

※ 期間:1999 年 12 月末日～2020 年 3 月末日

※ 作成：スパークス・アセット・マネジメント

（次ページへ）

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社（以下当社）が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。従って、元本が保証されているものではなく、組入れた有価証券の価格が下落する場合や、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写をすることを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書（交付目論見書）のご請求、お問合せは販売会社まで。

（前ページより）

このチャートは、TOPIX Small（東証小型株指数）と TOPIX（東証株価指数）の 3 年間リターンの差（相対パフォーマンス）と、TOPIX とを過去 20 年間遡ったものです。2000 年以降、TOPIX Small が TOPIX を大きく上回ったのは①2000 年代前半、②リーマン・ショック後（2008 年）から 2011 年頃、③2015 年前後から 2017 年、の 3 期間において見受けられます。いずれの期間でも、相場に先行して下落していた相対パフォーマンスの悪化が、相場自体の下落が進む中で改善していく様子が確認できます。これは、先行して下落していたことからくる割安感の増大はさることながら、大型株と比較して内需関連銘柄の構成比が高く、景気悪化局面においても新規産業、成長企業が新たに出現し相場を牽引するという特色が現れていると考えられます。

一方で、中小型株市場は一般にリスクが高い市場であると言われます。この点について、株式流動性と業績変動率という二つの側面から考えてみます。まず流動性ですが、一般的に中小型株の流動性は高くありません。流動性が高い銘柄は、常に市場価格に近い価格で取引できる一方、流動性が低い銘柄は、売り買いごとに市場にインパクトがかかりやすく売買コストが相対的に上がります。これは景気後退局面や危機時には影響が増大しやすく、大口のファンド解約発生により保有株式の売却を行わなければならない場合において、買い手が現れなければ株価下落に拍車をかけてしまうことを意味します。これは逆も然りで、株価上昇局面で特定の大口買い手が現れると株価上昇が加速しやすくなります。業績変動率の観点では、事業領域が大企業に比較して限られるために、特定産業や顧客の需要動向が企業業績に与える影響が大きくなる傾向があります。このため景気後退局面では大企業（大型株）に比較して業績悪化が先行、また深刻化する企業も見られる一方、景気回復局面では業績回復幅が大きくなります。つまり、中小型株市場は株式需給、業績変化の両面から変動幅が大きく、価格変動が大きくなりやすい市場であると言えます。

このような一般的にはリスクが高いと考えられる市場において、当戦略は長期に亘って高いリターンを創出し続けています。これは、ボトムアップ・アプローチという中小型株式市場において最も効果的と考えられる手法を過去 30 年間「愚直に」続けてきたことに他なりません。株価は短期的に見ればランダムに動く予測不能なものですが、長期的には企業の業績に収斂していくものと考えられます。私どもは個別企業の業績動向に焦点を当て、銘柄固有のリスクに落とし込むことで過度なリスクテイクを抑制しています。

しかし、当然ながら全ての市場環境において高いパフォーマンスを出し続けることは出来ません。株価と企業業績とが乖離する環境、具体的には「モメンタム・グロース相場」や、指数主導の相場展開などがその典型例です。過去 20 年の中では、2005 年にかけてピークをつけた小型成長株相場や、2014 年頃の ETF（上場投資信託）、低ボラティリティファンドの増加を背景としたインデックス相場において当戦略のパフォーマンスは一時的に劣後しています。一方で、このような苦戦した環境においても投資手法は変えておらず、結果としてその後 2～3 年をかけ劣後したパフォーマンスを取り戻す超過リターンが創出出来ています。これは、株価は長期的に企業業績に収斂するという株式投資における根幹は揺るがないものであるとの証左とも言えると、私どもは考えます。

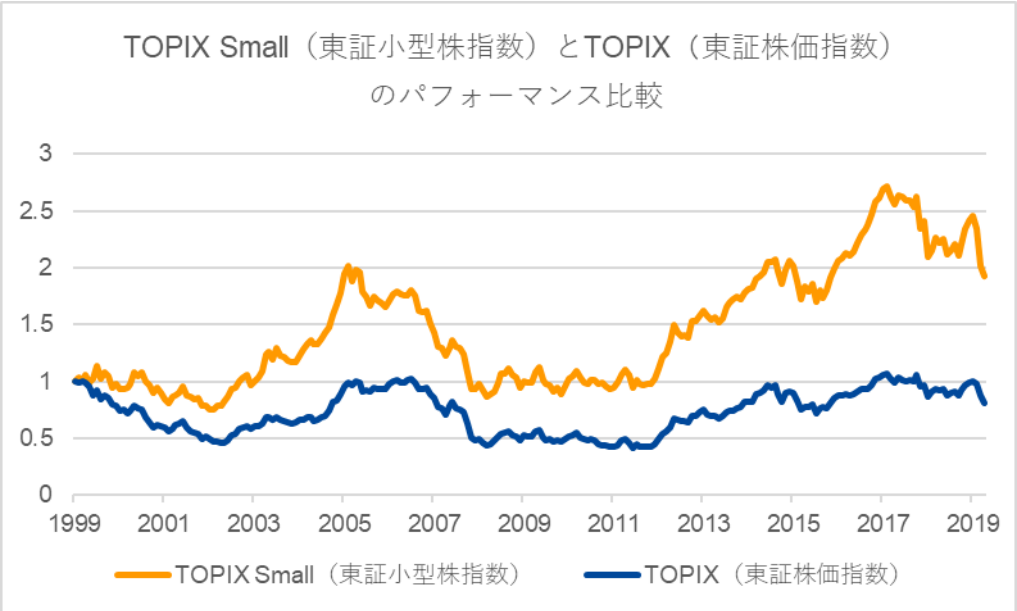
以上を踏まえた現況認識ですが、景気の先行きは見通し難く当面は楽観視できない環境が続くものの、既に小型株指数の相対パフォーマンスは低位にあり、中小型株式市場の最大の特徴である企業固有の成長に注目することで、これまでと変わらず長期的な超過リターンの創出は可能であると考えています。上の図から見て取れるように、小型株指数の相対パフォーマンスは 2018 年半ばをピークに低下を続けています。景況感のピークアウトや中小型株式ファンドからの世界的な資金流出等複数の要因が挙げられますが、過去の水準から見ても小型株指数の相対パフォーマンス悪化は顕著です。

一方で、「低成長・課題先進国」である日本における成長機会は、既存産業を「破壊」し新たな価値を創出することのできる中堅企業の成長に他なりません。事実過去 20 年をみても、次のチャートのとおり、TOPIX Small（東証小型株指数）は TOPIX（東証株価指数）を上回る動きを見せています。

（次ページへ）

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社（以下当社）が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。従って、元本が保証されているものではなく、組入れた有価証券の価格が下落する場合や、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写をすることを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書（交付目論見書）のご請求、お問合せは販売会社まで。

（前ページより）



※ TOPIX Small（東証小型株指数）および TOPIX（東証株価指数）は当ファンドのベンチマークではありません。

※ 期間:1999 年 12 月末日～2000 年 3 月末日（1999 年 12 月末日を「1」として指数化）

※ 作成：スパークス・アセット・マネジメント

私どもは「いい会社を安く買う投資戦略」に基づき運用を行っています。それは、市場から無視されていたり、嫌われていたりするものの、将来の成長機会を獲得できる「いい会社」に対する、中長期的視点の投資です。

一般的な「いい会社」とは、新たな製品やサービスを投入することで市場を拡大させ成長するため、企業価値は時間を追うごとに増えていくと考えられます。一方で、短期的な業績悪化や市場全体の下落など、様々な要因で株価は大きく変動することが想定されます。このような、企業価値と市場価格との間の大きなギャップこそが、魅力的な投資機会であると考えています。

特に私どもが注目をするのは、「実態価値の成長が期待できるかどうか」です。一般的なバリュー投資の場合、実態価値に対し割安となった銘柄に対し投資を行います。しかし、実態価値の成長が見込めない場合、なかなか再評価されず投資資金が寝てしまう「バリュートラップ（割安のわな）にはまる」ことがあります。このような状況を回避するためにも、中長期での成長確度に対する評価がより重要だと考えています。

中小型株市場の魅力は、マクロ環境に依らない企業固有の成長機会が多い点にあります。昨今のような景気悪化が避けられない環境において、中小型株戦略の優位性は一段と高まってくると考えます。「愚直」にボトムアップ・アプローチによる銘柄選別を続け、中長期に亘る良好なパフォーマンス創出に努めてまいります。

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社（以下当社）が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。従って、元本が保証されているものではなく、組入れた有価証券の価格が下落する場合や、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写をすることを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書（交付目論見書）のご請求、お問合せは販売会社まで。

スパークス・M＆S・ジャパン・ファンド
愛称:華咲く中小型

マンスリーレポート

ファンドの目的

当ファンドは、主としてスパークス・日本中小型株・マザーファンド（以下「マザーファンド」といいます。）を通じて、日本の株式に投資し、信託財産の中長期的な成長を目標に積極的な運用を行うことを基本とします。

ファンドの特色

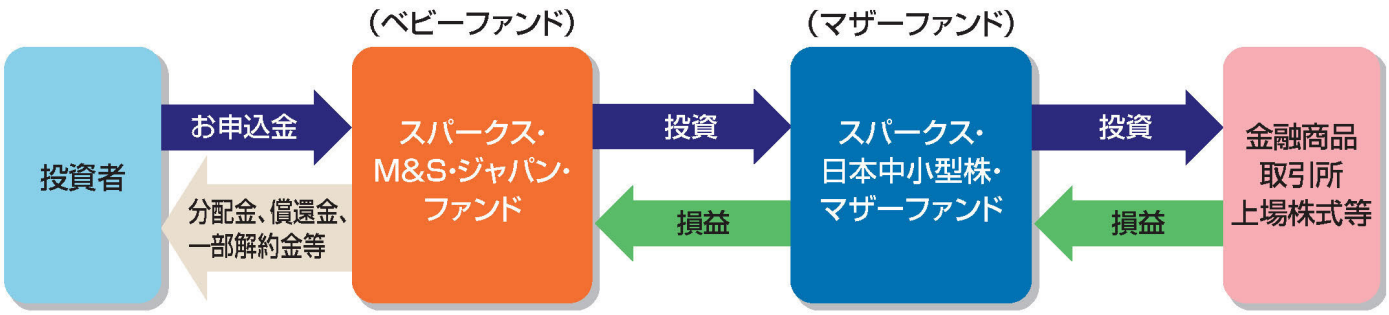
1. **日本の上場株式のうち中小型株式を中心に投資します。**
   - ◆ 中小型株式は銘柄数が豊富であり、また高い成長が期待できる企業が多く存在します。
2. **スパークスの徹底したボトムアップ・リサーチで銘柄を選別します。**
   - ◆ 中小型株式の調査は1989年のスパークス創業時から行っております。
3. **ベンチマークであるラッセル／ノムラ・ミッド・スモールキャップ指数（配当込み）*を上回る投資成果を目指して運用します。**
   - ◆ ただし、ベンチマークの業種構成比等にはとらわれません。

＊ ラッセル／ノムラ・ミッド・スモールキャップ指数（配当込み）は Russell/Nomura 日本株インデックスのサイズ別指数です。Russell/Nomura 日本株インデックスは、野村證券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村證券株式会社及び Russell Investments に帰属します。なお、野村證券株式会社及び Russell Investments は、ラッセル／ノムラ・ミッド・スモールキャップ指数（配当込み）の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、スパークス・アセット・マネジメント株式会社がラッセル／ノムラ・ミッド・スモールキャップ指数（配当込み）を用いて行う事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。

ファンドの仕組み

ファミリーファンド方式※により、金融商品取引所上場株式への実質的投資を行います。

※ ファミリーファンド方式とは、投資者の皆さまからお預かりした資金をまとめてベビーファンドとし、その資金をマザーファンドに投資することにより、その実質的な運用をマザーファンドにて行う仕組みです。



■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社（以下当社）が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。従って、元本が保証されているものではなく、組入れた有価証券の価格が下落する場合や、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写をすることを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書（交付目論見書）のご請求、お問合せは販売会社まで。

投資リスク

基準価額の変動要因

当ファンドは、マザーファンド受益証券への投資等を通じて、株式などの値動きのある有価証券に投資しますので、ファンドの基準価額は変動します。従って、投資者の皆さまの投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金と異なります。

株価変動リスク
一般に株価は、個々の企業の活動や一般的な市場・経済の状況、国内および国際的な政治・経済情勢等に応じて変動します。従って、当ファンドに組入れられる株式の価格は短期的または長期的に下落していく可能性があり、これらの価格変動または流動性に予想外の変動があった場合、重大な損失が生じる場合があります。

中小型株式等への投資リスク
当ファンドは、中小型株式等へも投資します。こうした株式は、比較的新興であり、発行済株式時価総額が小さく、売買の少ない流動性の低い株式が少なくありません。その結果、こうした株式への投資はボラティリティ（価格変動率）が比較的高く、また流動性の高い株式に比べ、市況によっては大幅な安値で売却を余儀なくされる可能性があることから、より大きなリスクを伴います。

信用リスク
組入れられる株式や債券等の有価証券やコマーシャル・ペーパー等短期金融商品は、発行体に債務不履行が発生あるいは懸念される場合には価格が下がることがあり、また、投資資金を回収できなくなることがあります。

その他の留意事項
●システムリスク・市場リスクなどに関する事項
証券市場は、世界的な経済事情の急変またはその国における天災地変、政変、経済事情の変化、政策の変更もしくはコンピューター・ネットワーク関係の不慮の出来事などの諸事情により閉鎖されることがあります。このような場合、一時的に換金等ができないこともあります。また、これらにより、一時的にファンドの運用方針に基づく運用ができなくなるリスクなどもあります。

※基準価額の変動要因（投資リスク）は、上記に限定されるものではありません。

その他の留意点

- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- 収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益の水準を示すものではありません。
  収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。
  投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。
  収益分配の支払いは、信託財産から行われます。従って純資産総額の減少、基準価額の下落要因となります。

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社（以下当社）が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。従って、元本が保証されているものではなく、組入れた有価証券の価格が下落する場合や、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写をすることを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書（交付目論見書）のご請求、お問合せは販売会社まで。

スパークス・M＆S・ジャパン・ファンド
愛称:華咲く中小型

マンスリーレポート

お申込メモ（お申込の際には投資信託説明書（交付目論見書）をご覧下さい。）

ファンド名	スパークス・M＆S・ジャパン・ファンド （愛称:華咲く中小型）
商品分類	追加型投信／国内／株式
信託期間	2007 年 1 月 31 日から 2027 年 1 月 25 日
決算日	毎年 1 月 25 日 （休日の場合は翌営業日）
収益分配	原則として毎決算時にファンドの基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。
お申込時間	各販売会社で毎営業日お申込いただけます。お申込時間は、原則として午後 3 時までとします。 当該時間を過ぎた場合は翌営業日の受付となります。
お申込単位	販売会社が定める単位
お申込価額	お申込受付日の基準価額
解約のご請求	販売会社の毎営業日に販売会社が定める単位で解約を請求することができます。お申込時間は、原則として午後 3 時までとします。当該時間を過ぎた場合は翌営業日の受付となります。 ※委託会社は金融商品取引所における取引の停止、その他やむを得ない事情があるときには、解約請求の受付を中止することができます。
解約価額	解約請求受付日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額
解約代金の受渡日	解約受付日から起算して、原則として 5 営業日目からお支払いします。

お客様にご負担いただく手数料等について

※下記手数料等の合計額については、お申込金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することができません。

【お申込時】

■お申込手数料

お申込受付日の基準価額に 3.3%（税抜 3.0%）を上限として販売会社が定める手数料率を乗じて得た額

【ご解約時】

■信託財産留保額

解約請求受付日の基準価額に 0.3%の率を乗じて得た額

■解約手数料

なし

【保有期間中】

（信託財産から間接的にご負担いただきます）

■信託報酬

純資産総額に対して年率 2.057%（税抜 1.87%）

■その他の費用等

(1)監査報酬、投資信託説明書（目論見書）や運用報告書等の作成費用などの諸費用（純資産総額に対し上限年率 0.11%（税抜 0.10%））

(2)有価証券売買時の売買委託手数料等は、ファンドの運用による取引量に応じて異なりますので、事前に料率や上限額等を表示することができません。

【課税上の取扱い】

課税上の取扱いについては投資信託説明書（交付目論見書）をご覧下さい。

〔お問い合わせ先〕 スパークス・アセット・マネジメント株式会社

ホームページ https://www.sparx.co.jp/ 電話番号:03-6711-9200（受付時間:営業日 9:00 ～ 17:00）

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社（以下当社）が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。従って、元本が保証されているものではなく、組入れた有価証券の価格が下落する場合や、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写をすることを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書（交付目論見書）のご請求、お問合せは販売会社まで。

ファンドの関係法人について

●委託会社　スパークス・アセット・マネジメント株式会社
金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第 346 号
（加入協会）　一般社団法人投資信託協会　一般社団法人日本投資顧問業協会　日本証券業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会
信託財産の運用指図、受益権の発行等を行います。

●受託会社　三井住友信託銀行株式会社
委託会社の指図に基づく信託財産の管理等を行います。なお、信託事務の一部につき日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社に委託を行います。

●販売会社　下記一覧参照
ファンドの受益権の募集・販売の取扱い、一部解約請求の受付、一部解約金・収益分配金・償還金の支払いの取扱等を行います。

販売会社		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
SMBC日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第2251号	○	○	○	○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第44号	○	○		○
岡三オンライン証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第52号	○	○	○	
おかやま信用金庫	登録金融機関	中国財務局長（登金）第19号	○			
au カブコム証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第61号	○	○		
極東証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第65号	○			○
ごうぎん証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長（金商）第 43 号	○			
十六 TT 証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長（金商）第188号	○			
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長（金商）第140号	○	○		○
西日本シティTT証券株式会社	金融商品取引業者	福岡財務支局長（金商）第75号	○			
株式会社福岡銀行	登録金融機関	福岡財務支局長（登金）第7号	○	○		
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第164号	○	○		
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第165号	○	○	○	
三井住友信託銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長（登金）第649号	○	○	○	
水戸証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第181号	○		○	
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第195号	○	○	○	○
スパークス・アセット・マネジメント株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第346号	○		○	○

〔お問い合わせ先〕 スパークス・アセット・マネジメント株式会社
ホームページ　https://www.sparx.co.jp/　電話番号:03-6711-9200（受付時間:営業日 9:00 ～ 17:00）

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社（以下当社）が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。従って、元本が保証されているものではなく、組入れた有価証券の価格が下落する場合や、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写をすることを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書（交付目論見書）のご請求、お問合せは販売会社まで。